

な かな かな 第17号 区民会議だより

発行 中原区区民会議
編集 中原区区民会議事務局
(中原区役所企画課)
所在地 中原区小杉町 3-245
電話 044-744-3149
FAX 044-744-3340
メール 65kikaku@city.kawasaki.jp

第2回 中原区区民会議を開催しました

審議テーマは、「絆を深めて支え合う防災体制づくり」に

今期区民会議の審議テーマが決定しました。
決定した審議テーマの課題解決に向け
検討を進めています。



審議テーマが決定

10月24日に第2回本会議が開催されました。第1回運営部会での審議を受け、今期は防災、子育て、魅力発信の3つの候補の中から、東日本大震災の経験が風化しないように取り組むべきであるとして、初めに「絆を深めて支え合う防災体制づくり」をひとつめのテーマとして審議を行うこととしました。

また、決定した課題を具体的に検討するため設置された課題調査部会の委員を選任しました。選任され

東日本大震災時に停電を免れたマンションで他のマンション住民や帰宅困難者を受け入れた事例などを



高層マンションの問題点等について話していました

取組事例紹介

自主防災組織の地域での活動を知るため、活発な活動を継続している2組の事例を紹介してもらいました。

ザ・コスギタワー 自主防災組織

塚本委員がザ・コスギタワー自主防災組織の取り組みを紹介しました。

紹介するとともに、高層マンションでの防災について、停電時にはエレベーターが使えないため、トイレが深刻な問題になることや、防災資機材は色々あるが、ほとんどの人が使い方を知らないなど問題点の説明がありました。

また、マンション内の交流を増やしたい人が半数程度いることや、すでに取り組んでいる活動のフロア交流会は参加者満足度が非常に高いことなどを話しました。

その他、自分たちで勉強しながら1年がかりで防災マニュアルを作り、そのダイジェスト版を配布することや、東日本大震災きっかけに、せめて同じフロアの人同士は声をかけ合ったり、お互いの家族の状況を話したりするくらいの関係のほうがいいとの意識が変わってきているので、それを促進する活動をしていきたいとの報告もありました。

たぬきくんの区民会議が知りたい！

中原区区民会議キャラクターたぬきくんが、区民会議について紹介します。

区民会議委員について知りたい

区民会議委員は川崎市市民会議条例により、区民（区に在住・在勤・在学等）の中から、20人以内で、公募、団体推薦、区長推薦により選ばれています。

今期の中原区区民会議は、公募が4人、団体推薦が13人、区長推薦が3人の合計20人です。

なお、委員は市の非常勤特別職として任じられています。

また、中原区区民会議では、委員長1人、副委員長2人を委員の話し合いで選んでいます。今期の委員長は前期でも副委員長として活躍した川連昌久さんです。

選ばれた区民会議委員は、平成26年6月まで地域の課題解決に向けて、審議を続けていきます。



委員の皆さんは「なかなかな区民会議だより16号」で紹介しています

第3回 区民会議開催

第3回区民会議を開催します。課題調査部会での議論を踏まえ、絆を深めて支え合う防災体制づくりの取り組み等について議論します。

日時：1月22日（火）
午後2時～午後4時
会場：中原区役所 5階会議室

議題：「絆を深めて支え合う防災体制づくり」

区民会議の様子はどなたでもご覧になることが出来ます。傍聴希望の方は、当

訃報

今期の中原区区民会議委員を務めていただきました長瀬政義様（七十四歳）におかれましては、昨年十月十一日（木）に急逝されました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、お知らせいたします。

なお、後任につきましては、中原区町内会連絡協議会からの推薦で石井康昭委員の就任が決定いたしました。

第1回 課題調査部会

11月5日に第1回課題調査部会を開催しました。

まず、板倉委員を部会長、岡本委員を副部会長とすることを決定しました。

また、最初の審議テーマである「絆を深めて支え合う防災体制づくり」について、これまでの本会議、運営部会等での意見を整理しながら、区民会議で取り組むことができるアイデアを検討し、具体的な実行方法を



ワークショップ形式で話し合いました

等の企画を話し合いました。委員からは、「地域の中学生を活用するのが良いのではないか」や「高層マンションへの対策は重要。自

自主防災組織の無いマンションの対応は課題である」との意見がありました。

そして、今後の取り組みとして、地域特性を踏まえた防災イベントを実施すること。活発な活動をする自主防災組織の成果を広めること。既存の資料を集約して防災資料コーナーを作るなど防災情報をもっと広めること、その場合は外国籍の方への情報提供の仕方も考えることの3点が提案されました。

区民会議への意見募集

区民会議では、住民同士の話し合いにより解決することのできる地域課題や区民会議に關してのご意見なども随時募集をしています。皆様からいただいたご意見は区民

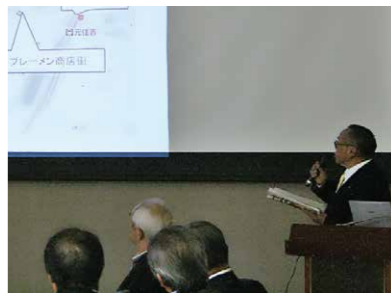
区民会議での議論の参考とさせていただきます。住所、氏名、電話番号を記入のうえ郵便、FAX、メールで区役所企画課（送付先は一面発行元を参照）までお寄せください。

また、区民会議に関する情報は、区のホームページでもご覧いただけます。

日直接お越しください。（当日先着50名）

区民会議に対する意見も募集しております。（右囲み参照）

井田協友会松本会長と竹井副会長が防災の取り組みを紹介しました。



井田協友会の概要について説明する松本会長

町会活動の説明の中で、「マンションとどのように付き合うかが重要となっている。マンション世帯には開発が始まる前からアプローチすることや入居後は管理会社、管理組合に丁寧な町会加入の勧誘をすることが重要だ。コミュニティ形成を進めることが、防災意識の向上にも繋がっている」と話していました。そして、マンション住民と連携する工夫として、防災訓練を共同で行っていることや、マンション住民から自主防災組織の役員も出

してもらっている事例が紹介されました。

また避難所運営訓練の様子や町会でお金を出し合っで、避難所の消耗品等を購入している事例、さらに、災害時要援護者の情報を民生委員やマンション管理人などで共有していることなどの説明がありました。

委員からは、「町会の防災担当を持ち回りでやっているようだが、仕事の忙しい人はやっていけないのではないか」との質問があり、「持ち回りは負担だが、できる範囲でやってもらっている。松本会長が毎朝公園を掃除している姿を見ていると、少しでもできることは手伝わらないといけないのかなとおっしゃる方もいるので、そのようなムードをつくっていくことが大切だ」と話していました。

これまでの取組

前期の区民会議でも、防災について検討しました。

区民会議での提案を基にした具体的な取り組みの中で、市民提案型事業では、子どもを対象とした「なかはら防災紙芝居」を作成し、イベント等で実施しました。この紙芝居は現在区役所で貸出しも行っていきます。



その他にも、ぼうさい出前講座や中原区防災フェアの実施、子育て情報ガイドブックへの防災関連情報の掲載、防災ネットワークエリアマップの配布、防災ネットワーク連絡会議の開催などを実施し、委員の検討結果を踏まえ、防災への取り組みが着実に実施されました。

知っていますか 防災対策

市では、各個人、家庭での防災対策や、地域の防災災害に対する日頃の備えな

防災のテーマに出された意見

今期、初めに取り組むテーマ「絆を深めて支え合う防災体制づくり」について、第1回運営部会や、第2回区民会議、第1回課題調査部会（4ページ参照）で、委員から出された主な意見は下図のとおりです。

若い方や、新しくマンションなどに移り住んできた方々に、防災について知ってもらうにはどうすればいいか?という視点や、自主防災組織への意識啓発の必要性、外国人への情報提供の必要性、既にある防災情報をいかに区民に知ってもらうのか?など、被災後の個人や地域による自助・共助の力をいかに高めるかというアイデアが多く寄せられています。これらの意見をふまえて、今後区民会議としてどのような企画を実施していけばいいのか、検討を進めていきます。

「絆を深めて支え合う 防災体制づくり」 についての主な意見

防災対策をやっている自主防災組織がいることを発信することによって、まわりの意識も変わるのでは。

発災後 72 時間以内にどのように人命救助を行うか自主防災組織に考えてもらうことが一番大切。

若い方やマンション、社宅に住む方々にどうやって自主防災に関心を持ってもらうかが課題。

外国籍の人にはやさしいにほんごの活用が有効だと思う。



避難訓練を見学した時に、普通家庭にないものを使用して訓練等をしていたことに疑問を感じた。

防災に関する資料は既に作成されている。それをどのように知ってもらうかが課題だ。



防災関係資料の見直しをした方がよいのではないかと。例えば、外国人市民向けに作成された、やさしいにほんご版「そなえる。かわさき」には「あめがたきのごおとふる。」とあるが、この表現で外国人は理解できるのだろうか。

自治会結成はマンションにとってハードルが高いので、せめて自主防災組織を結成してもらうようにできないだろうか。

災害が起きるとマンパワーが問題になる。災害時に活躍する消防団の定数不足解消に向けた取組が大切では。

昨年度作成した、防災紙芝居の「マンション編」を作成してみてもどうか。

未就学児の保護者には情報が入りにくいので、対策が必要ではないか。



これらの意見を踏まえて検討を進めます。



自主防災組織とは

被害を少しでも軽減するために、地域での助け合いが必要です。

自主防災組織とは、地域に住む皆さんが協力し合い、その地域の安全を守るために組織されたものです。災害時に効果的な活動ができるよう、訓練、備蓄等を行っています。

市では、訓練等活動に対して助成金制度などにより支援を行っています。

中原区地域防災計画を改定しました

中原区では、住民の皆様にとって身近な災害予防、災害応急対策を定めるため、「中原区地域防災計画」を作成し、これを基に、安全・安心な地域生活環境の整備を図っております。この度、東日本大震災を受けて、市が各種防災関係計画の見直しを行ったことに伴い、10月に中原区地域防災計画も見直しを行いました。

- 主な追加事項
・区民及び事業者の基本的責務
・男女共同参画の視点への配慮
・高層マンションにおける予防対策等
・帰宅困難者、一時滞在者の対策 など

※中原区地域防災計画は区ホームページ (http://www.city.kawasaki.jp/nakahara/) でご覧になれます。



その他に防災マップなども作成しており、区役所などで配布しています。